

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートキッズうけんのいえ			
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 2日		～	令和8年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 2日		～	令和8年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースや環境整備が分かりやすく、子ども達が安心して楽しく通えている。	・掃除や整理整頓を徹底し、安心して過ごせる空間作りを心掛けている。 ・玩具や物品の配置を分かりやすくラベリングを行うことで、子ども達が自分で選択・行動しやすい環境作りを行っている。 ・子どもの特性や状況に応じて、落ち着いて過ごせるスペースや活動しやすい環境設定を行っている。	今後も子ども達がより主体的に行動できるよう、視覚支援やスケジュール提示の工夫を行い、子ども達の「楽しい」「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、活動内容の充実を図る。
2	保護者との共有体制を整えることで信頼関係を築けている。	・送迎時や定期的に行う会議で、日々の様子や成長、気になること、支援内容や課題についてを丁寧に共有している。 ・保護者の話に耳を傾け、不安や悩みに寄り添いながら対応することを心がけている。	・保護者が相談しやすい関係作りを継続し、安心して意見交換ができる環境作りに努める。 ・今後も密に連携を取りながら、子ども達一人ひとりに合った支援に繋げられるよう情報共有行っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援（保護者交流会・研修等）の参加機会。	親子参加のイベントを開催しているが、保護者同士の交流に対して不十分なところがある。研修に関しては実施できていないため機会が少ない。	親子イベントと切り分けた交流の場を設けるなど、ニーズに応じた開催方法を検討していきたい。
2	地域との交流機会。	買い物支援や年賀状投函等でスーパーや郵便局、地域の公園に遊びにいった際に地域の方々との交流は多少できているが、プログラムに放課後児童クラブや児童館と活動する機会は日程調整が難しく組み込むことができていないため機会が少ない。	地域資源を活用した外出活動を継続しながら、地域の放課後児童クラブや児童館と交流できる機会を組み込むよう連携を図り工夫していきたい。
3			